

第 85 回 理 事 会 議 事 録

1. 日 時 令和 5 年 7 月 4 日 (火) 12 時 15 分～13 時 55 分
2. 場 所 アルカディア市ヶ谷
3. 出 席 者
- | | | | |
|-------|-------|--------|--|
| 会 長 | 井上 圭三 | | |
| 副 会 長 | 楠 文代 | 中村 明弘 | |
| 常務理事 | 田中 芳夫 | 越前 宏俊 | |
| | 浜岡 純治 | 加留部 善晴 | |
| 理 事 | 杉林 堅次 | 亀井 美和子 | |
| | 神野 透人 | 赤路 健一 | |
| | 中村 恵 | 北川 裕之 | |
| | 篠塚 和正 | | |
| 監 事 | 富田 基郎 | 市川 厚 | |
| 参 与 | 乾 賢一 | 本間 浩 | |

理事現在数	15 名
出席理事数	14 名

4. 議事の経過の要領及びその結果

定款第 30 条の規定に基づき井上会長が議長に就任し、理事現在数 15 名に対し、本日の出席理事は 14 名となり、定款第 31 条で定める定足数を満たしており、本理事会が有効に成立していることが宣言された。また、議事録署名人として出席理事から、中村 恵理事を指名し、事務報告の後、議案の審議に入った。

(1) 前回議事録の確認について

前回議事録（第 84 回理事会：令和 5 年 6 月 6 日開催）について、全会一致でこれを承認した。

(2) 令和 5 年度教育賞受賞候補者の推薦について

井上会長（教育賞受賞者選考委員会委員長）から、「資料 3」に基づき、午前中に開催した「教育賞受賞者選考委員会」について以下の説明があった。

- ① 教育賞実施規程第4条第1項に基づく、「協会の議決権を有する者による推薦」については、例年どおり大学へ推薦を依頼する。
- ② 同規程第4条第2項に基づく、「特定の事業等に特に功績があった者については、本協会検討委員会の委員長が推薦できる。」に関しては、「教育研究問題検討委員会」、「実務実習検討委員会」及び「共用試験検討委員会」の各委員長が確認を行い、候補者の推薦手続きを取ることとなった。

次いで、同賞選考委員会による提案について、これを了承した

(3) 第108回薬剤師国家試験問題検討委員会の検討結果について

中村副会長（薬剤師国家試験問題検討委員会委員長）から、第108回薬剤師国家試験問題の検討結果について「資料4」に基づき、以下の報告があった。

- ① 今回も全7領域にわたって、必須、理論、実践問題のいずれにおいても、概ね適切で良問が多かったと評価された。具体的には「知識の有無だけでなく理解力や思考力を問う問題」、「図・表・構造式から考えさせる問題」、「時事問題」、「臨床での問題解決能力をはかる良問」など、作問の工夫を評価する意見が寄せられた。
- ② 一方、各部会からの報告書では、出題意図が不明、曖昧でわかりにくい、専門性が高すぎる、論理的な思考を求める問題不足(薬剤)、連問にする必要性に乏しい(薬理と病態・薬物治療)、複合性が不適切、語句の使い方の不備、不正確な医薬品名、模擬症例の検査値の扱いが雑、実在しない剤形等が指摘され、受験生が困惑しないように作問時の徹底した確認が要望された。
- ③ 「問題の誤りや不適切性が平易さによってマスクされている」との指摘、理論及び実践問題で解答を1つ選ぶ問題については、「2つ選べ」とすることで良問となるとの意見も複数の領域で認められた。
- ④ ガイドラインにあるが適応外使用、添付文書にあるが稀なケース等が今回も出題されており、学修範囲が限りなく広がることが懸念される。全ての問題が薬剤師の資格試験として適切な問題になることが強く要望された。また、今後は識別率が高くなるような出題を意識する必要があるとの意見も寄せられた。
- ⑤ 「薬剤師国家試験の“科目別出題”に限界がある。」との指摘が、今回はさらに多くなった。科目間の境界領域の出題が増加しており、薬剤師の実務に科目の区別はないことから“科目別出題”の在り方については是非とも検討するよう要望する。
- ⑥ 「誤りがあると判断された問題」の指摘がいくつかあった。

なお、本報告書については、井上会長名で厚生労働省及び文部科学

省へ報告するとともに、7月12日（水）に開催の「厚生労働省医道審議会薬剤師分科会薬剤師国家試験問題事後評価部会」において、中村明弘同検討委員会委員長及び櫛山暁史病態・薬物治療部会委員長（明治薬科大学）が出席し、本報告書をもとに意見表明を行うことが併せて了承された。

（4）各種委員会委員長の補充人事について

井上会長から、令和5年3月31日付けで理事を退任した奥理事が委員長であった各種委員会の後任委員長について「資料5」のとおり提案があり、承認された。

第三者評価検討委員会	委員長	越前宏俊
共用試験検討委員会	委員長	加留部善晴

（5）全国薬科大学長・薬学部長会議（第1回理事会・総会）における本協会の報告について

井上会長から、全国薬科大学長・薬学部長会議（第1回理事会：6月16日開催・総会：6月23日開催）において、本協会から報告した事項について「資料6」に基づき説明があった。

また、全国薬科大学長・薬学部長会議の会長及び副会長の交代等について以下の報告があった。

- ・ 奥会長の退任に伴い、中村明弘現副会長が会長代行に就任した。
- ・ 藤尾副会長の退任に伴い、国公立大学から太田茂和歌山県立医科大学薬学部長が副会長に就任した。
- ・ 中村現副会長が会長代行に就任したことに伴い、私立大学から三澤日出巳慶應義塾大学薬学部長が副会長に就任した。

（6）その他

- ・ 井上会長から、「薬学部教育の質保証に関し、令和7年度以降の6年制課程の薬学部においては、学部学科の設置並びに収容定員の増加を抑制することになるが、薬剤師の確保を特に図るべき区域は「抑制の例外」となっている。今回、例外区域に関する基準を定めるに当たり、その基本的な考え方」について、文部科学省から説明を受けた旨報告があり、これに関する意見交換を行った。
- ・ 薬学実務実習に関し、現行の実習期間である22週（薬局11週・病院11週）の扱いが話題となり、意見交換を行った。

議長は、以上をもってすべての議案の審議を終了した旨発言し、13時55分閉会を宣言した。

以上の議決を明確にするため、本議事録を作成し、議長及び出席理事(指名された議事録署名人)、及び監事がこれに署名捺印する。

令和5年7月25日

一般社団法人 日本私立薬科大学協会

議長	井上圭三 (押印済)
出席理事 (議事録署名人)	中村恵 (押印済)
出席監事	富田基郎 (押印済)
出席監事	市川厚 (押印済)